

よくある質問について（返還免除内定制度）

最終更新：令和2年1月6日

学生支援課 奨学支援グループ

下記の「Q」の番号（3-4等）は、申請要項の各番号と対応しています。

No.	Q	A
1	3-4 採用時返還免除内定候補者に係る推薦理由書（様式3）について 「返還免除内定候補者の選考評価項目」の欄は、指導教員にチェックを入れてもらえば良いか。	空白にしておいてください。
2	3-4 採用時返還免除内定候補者に係る推薦理由書（様式3）について 「返還免除内定候補者の推薦理由」の欄は、指導教員のサイン・印鑑等は必要か。	学長名で日本学生支援機構に提出する書類ですので、指導教員のサイン・印鑑は不要です。
3	3-4 採用時返還免除内定候補者に係る推薦理由書（様式3）について 「返還免除内定候補者の推薦理由」の欄は、手書き、入力のいずれでも良いか。	「返還免除内定候補者の推薦理由」の欄は、手書き、入力のいずれでも構いませんが、極力、指導教員に直接入力してもらってください。 不備があった場合に再提出を求める場合があり、指導教員にご面倒をおかけする可能性があるためです。
4	6-2-6-2-1「学位論文その他の研究論文」「第16条に定める特定の課題についての研究の成果」「著書、データベースその他の著作物」の提出について 学位論文／研究論文を英語で執筆しているが、日本語に翻訳する必要はあるか。	学位論文要旨及び研究論文本文（主な業績）の本文部分については、日本語訳の必要はありませんが、表紙（本学指定）及び表紙（研究科指定）に記載する論文題目、著者名（申請者名）については、日本語・英語を併記してください。
5	6-2-6-2-1-1 学位論文（要旨）の提出について 学位論文（要旨）について、研究科（もしくは専攻）より要旨の提出を求められていないが、論文本体を提出しても良いか。	研究科（もしくは専攻）により、要旨の提出が不要な場合も、A4用紙1～2ページ程度で要旨を作成し（様式自由）、提出してください。 要旨には、論文題目、研究科名、学籍番号、氏名を明記してください。
6	6-2-6-2-1-1 学位論文（要旨）の提出について 6-2-6-2-1-2 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果の提出について 要旨について、研究科指定の様式はないが、どのようにすれば良いか。	任意の様式（A4・両面印刷）で作成し、大学指定の表紙を付してください。
7	6-2-6-2-1-3 「主な業績」の提出について 「主な業績」として全文を提出する研究論文について、どのように選べば良いか。	申請者自身で決定してください。 通常は、査読付き学術誌等、権威あるメディアに掲載されていることが判断基準になります。 自身で決められない場合は、指導教員等と相談して決定してください。
8	6-2-6-2-1-3 「主な業績」の提出について 「主な業績」として全文を提出しようとしている研究論文が、学位論文と内容が重複するが差し支えないか。	差し支えありません。

9	6-2-6-2-1-3 「主な業績」の提出について 6-2-6-2-1-4 「主な業績」以外の提出について 研究論文について、共著で筆頭著者でなくても業績として挙げて差し支えないか。	差し支えありません。
10	6-2-6-2-1-3 「主な業績」の提出について 6-2-6-2-1-4 「主な業績」以外の提出について 研究論文について、学術誌（又はウェブサイト）に発行日（掲載日）の明記がない場合は、どのようにすれば良いか。	採択決定通知をコピー（プリントアウト）して資料としたうえで、通知日を発行日（掲載日）として取り扱ってください。 この場合、学術誌（又はウェブサイト）に発行日（掲載日）の明記がない旨を、当該ページ（採択決定通知）に鉛筆で補足しておいてください。
11	6-2-6-2-1-4 「主な業績」以外の提出について 抜粋して提出するよう指定されたページに、必要な情報が複数記載されている場合は、同じページを複数枚コピーして提出しなくても良いか。 （例：学術誌の表紙が目次を兼ねており、発行日も明記されている場合など）	必要な情報が記載されていれば、同じページを複数枚コピーして提出しなくても構いません。
12	6-2-6-2-1-5 学会発表の提出について 学会発表について、共同発表で学会当日の発表者でなくても業績として挙げて差し支えないか。	差し支えありません。
13	6-2-6-2-1-5 学会発表の提出について 学会発表に値するかどうかの審査のため研究論文を提出し、学会発表を行ったが、この場合、「研究論文」「学会発表」の両方に業績を挙げて差し支えないか。	研究論文そのものを発表した機会（学会誌等）があれば、「研究論文」「学会発表」の両方に業績を挙げて構いませんが、研究論文そのものの発表機会がなかった場合は、「学会発表」のみの業績としてください。
14	6-2-6-2-1-5 学会発表の提出について ポスター発表を行った場合に、会場見取図を提出するよう記載されているが、会場見取図がない（もしくは、会場見取図に申請者氏名がない）場合はどのようにすれば良いか。	学会プログラム、学会ホームページのいずれにも、会場見取図がない（もしくは、会場見取図に申請者氏名がない）場合は、発表者一覧等、申請者名が明記されたページをコピー（又はプリントアウト）して提出してください。
15	6-2-6-2-1-5 学会発表の提出について 同一学会で複数回発表を行った場合は、別の業績として提出して良いか。	同一学会で複数回発表を行った場合でも、研究発表内容がそれぞれ別の内容であれば、別の業績として提出しても構いません。
16	6-2-6-2-1-5 学会発表の提出について 複数の学会で同一内容の発表を行った場合は、複数の業績として提出して良いか。	複数の業績として提出しても構いません。
17	6-2-6-2-1-5 学会発表の提出について ポスターでもプレゼンでもなく、論文の口頭発表のみの場合は、何を提出すれば良いか。	論文の口頭発表のみの場合は、ポスター・プレゼン資料の代わりに、発表した論文の表紙又は1ページ目など、申請者名（発表者名）、論文題目（発表題目）が明記されたページをコピーして提出してください。
18	6-2-6-2-4 研究又は教育に係る補助業務の実績について TAを複数回実施している場合は、別の業績として提出して良いか。	TAを複数回実施しても、全体で1件の業績としてください。 複数の科目名を担当した場合も、複数年度にわたって担当した場合も、全体で1件の業績として扱います。

19	6-2-6-2-4 研究又は教育に係る補助業務の実績について T Aの他にR Aや留学生チューターを実施している場合は、別の業績として提出して良いか。	R A、留学生チューターは、T Aとは別の業務ですので、それぞれ別の業績となります。 R A、留学生チューターの他、非常勤講師、非常勤職員なども、専攻分野に関連した研究又は教育に係る実績であれば、それぞれ別の業績として提出して構いません。
20	6-2-6-2-7 ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績について ボランティア活動の実績について、国際機関での業務を報告する予定だが、国際機関により発行された業務評価に関する証明書が英語で記載されており、日本語訳を付ける必要があるか。	証明書については、日本語訳を添付してください。この場合、日本語訳には、公的機関の証明等は必要ありません。
21	学振の特別研究員や、研究助成金、JASSO以外の給付奨学金、外部資金に採択されたが、業績として提出しても良いか。	業績として提出できます。 資料一覧(目録)(神戸大学様式③)の「学位論文その他研究論文」の一番最後(学会発表があれば、学会発表の後)に業績として記載し、決定通知書のコピーを提出し、資料番号も付してください。